



# 祭典合唱団ニュース

# ひろしま

NO. 5  
2021年9月19日  
発責：実行委員会

## 合唱団員 紹介コーナー

私も歌ってます  
よろしくお祈りしま〜す！



末森多佳子さん  
(A)

中学校の音楽の教師をしていた頃から、「平和」をテーマに活動している皆さんの「うたごえ」にひかれていました。

今では伝説の名演奏と言われる1995年の「日本のうたごえ祭典・広島」（サンプラザホール）での池辺普一郎指揮「アメイジング・グレイス」の初演に800余名の大合唱団の一員として参加していました。

その後も「こわしてはいけない ～無言館をうたう」（共に生きる町合唱団）などにも参加して来ています。教師時代の最後は住んでいる西条から広島市の安佐北区の中学校に通うという遠距離通勤となり、少し早めに退職しました。

現在は今田陽次さんがボイストレーナーを務めている合唱団「そら」に所属しています。

今回の「祭典合唱団」では歌いたい歌がたくさんあり、特にオーケストラの伴奏で歌うのがとても楽しみです。

9月12日（日）は、合唱練習の会場を確保することができませんでした。そこで、これまでの会場でのリアル練習+ZOOM配信という両方を組みあわせるレッスンではなく、初めてZOOM配信だけのレッスンに切り替えて行うことになりました。



三上和伸先生の指導で

会場は音楽センターひろしまの事務室から机や日なた関連の事業物などを運び出して、できるだけ広い空間を確保。各パートから2名だけ会場に来ていただき8名の小編成の合唱団を編成し、レッスンを受けてもらうこととして、指揮者の声とピアノ伴奏、合唱の声をマイクとテレビカメラに撮りZOOMで配信しました。

# ZOOMだけの初めてのレッスン

北海道や宮城からの視聴もあり48か所、複数の参加もあったので50名以上の参加となりました。

スタッフは前回から音響機材を強化して担当して下さっている山上茂典さんと平井充晴さんが早くから準備をし、京都でZOOMのホストとして時田裕一さんが見守って下さる中、定刻の10時前にはスタンバイOK、緊張の中レッスンが始まりました。



北田龍治先生が「祭典合唱団」が演奏する10曲の中で「一番の難曲」と言われている曲です。

全体の合唱と2時間半途中に2回の休憩をはさんで丁寧に、発声の仕方まで気を配りながら充実したレッスンをさせていただきました。

三上先生をはじめに歌詞も曲も解釈が難しい曲と言われ、各パートレッスン、表現しましょう！

## 必見 読んで！読んでね！うた新9月20日号

### 内田陽一郎先生の記事

2021日本のうたごえ祭典inひろしまのゲスト、ひろしま音楽界の重鎮、内田陽一郎氏の記事が「うたごえ新聞9月20日号」に掲載されています。

内田先生は10日目の記念音楽会で池辺普一郎氏と対談、2日目コンサートヒロシマII響けうたごえで「広島 愛の川」を指揮されます。

高田企画委員長がインタビュー、寺本祭典運営委員長、齋藤企画副委員長が同席しました。

内田先生は、オペラ「はだしのゲン」の主役を務め、次々載ります。お楽しみに！

うたごえ新聞をお読みでない方は是非お読みください！